

グリーティング

つい先日のことです。未明の4時前に目が覚めてしまいました。何度眠ろうとしても眠れません。結局6時前に朝食を摂って車に乗り込みました。

一日の始まりの淡いピンクの光の中、秋を探しに行こうという事になったのです。約2時間のドライブで、到着したのは大菩薩山麓のふもとです。紅葉とまでは言えませんが、色づき始めた木々が秋の入口を感じさせてくれます。標高は1,800m位、風は頬に冷たく、凜とした気持ち良さが何とも言えません。これが秋の空気感だなと思いつつながら、散策を楽しんだのでした。

S.K



自然の力に圧倒されます
野も山もあつと言う間に秋色です

技工情報

◎CAD/CAMインレーの窩洞形成に関する詳細、留意点

メタル(金属)インレーと異なり、全体的に緩やかな、曲線、丸みを帯びた形態となります。



これは、インレー体が基本的に脆性材料を用いている為で応力の集中を避ける事と強度維持の観点より一定の厚みを確保する必要があります。

【POINT】 CAD/CAM応用インレーと金属インレーの窩洞の比較

窩洞の具備条件	特徴・注意事項等	CAD/CAM応用インレー	金属インレー
窩洞外形	窩洞外形・保持形態 (図6、7)	・明瞭な抵抗形態を付与せず、全体的に丸みを帯びる ・金属インレーよりも歯質削除量は多くなる	インレー体に対する水平的拘止効力・抗側方脱出力として水平的凹凸形態や鳩尾形を付与する
	イスマス (窩洞の狭部) (図7)	・基本的に明瞭な狭窄部は形成しない ・最狭部径は2.0mm以上とする	咬頭間距離の1/3以内にとどめる
	保持形態	・使用材料により異なるが、咬合面最深部は目安として大白歯では1.5mm以上、小臼歯では1.2mm以上とする ・窩洞全体の深さは金属インレーに準ずる	・窩洞の深さは象牙質部で0.5~1mmに設定するため、エナメル質の厚みを加味すると全体で2~2.5mmになる ・一般的に削除量が少なく、インレー体が薄くなる傾向にある
抵抗形態	隣接面の窩洞 (図7b、c、図9)	・ボックス式 ・アンレータイプ(う蝕の広がりや残存歯質が非薄な場合) ・歯肉側マージンはディープシャンファアとする(丸みをもたせる)	・スライス式 ・ボックス式
便宜形態	窩壁のテーパ (図6、8)	金属インレーよりも外開き(6~10°)	基本的に箱型だが便宜形態を顧慮してわずかな外開き(<6°)
	線角・点角	すべてに丸みを与える	直線的・鋭角
窩縁形態	咬合面部の窩縁形態 (図6、8)	バットジョイント(butt joint)	ベベル付与

CAD/CAM応用インレーの理想的な窩洞形態模式図

